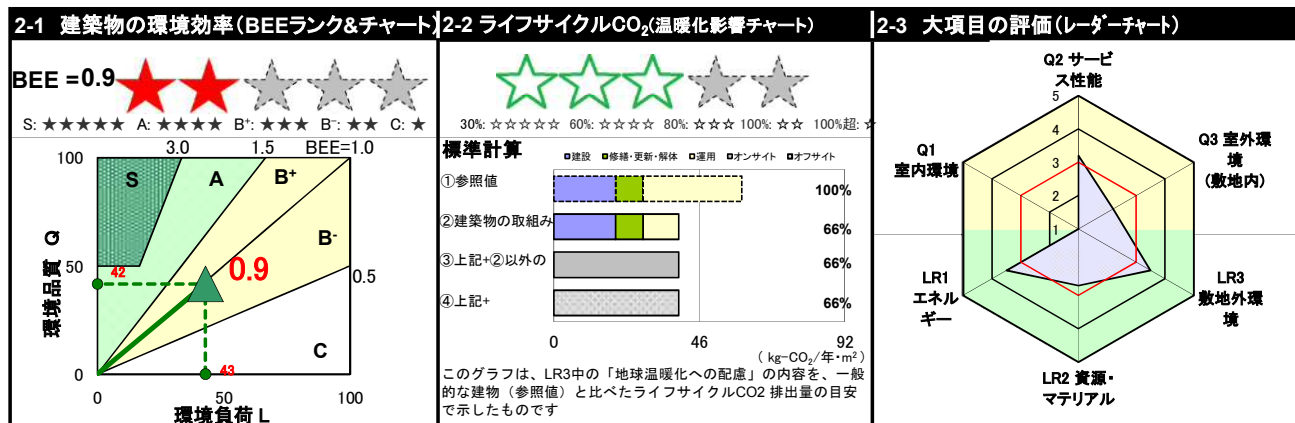


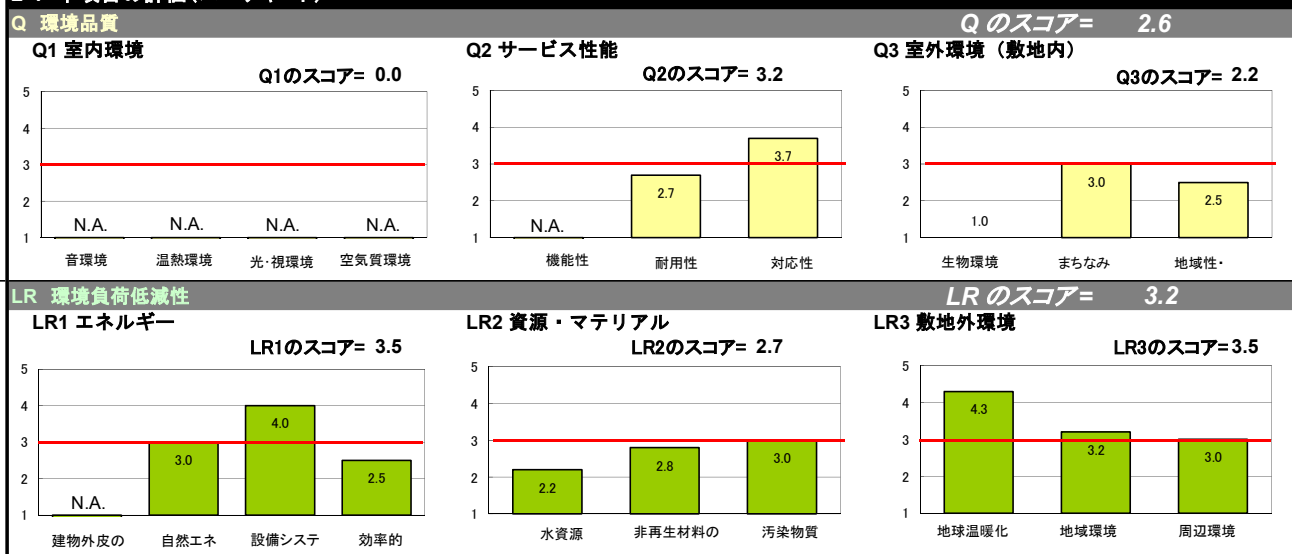
CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社管線火力発電所石炭・バイオマス焚き発電設備建設工事【屋内貯炭場建屋】	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市若松区響町一丁目94番4	構造	S造
用途地域	工業専用地域,法第22条区域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2016年10月21日
敷地面積	10779.4(仮想) m ²	作成者	株式会社 大林組
建築面積	3,722 m ²	確認日	-
延床面積	3,722 m ²	確認者	-



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
臨海部産業景観形成誘導地域として、響灘地区の景観形成テーマに対応し、建屋及びプラント装置をバランスよく敷地全体に配置し、自然環境に調和した色調を採用している。全体色調は響灘地区の色彩基準に適合するシルバー及びグレー系でまとめている。		-
Q1 室内環境 該当なし	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 芝生の緑地や通路等の空地を設け風の通りを良くし、暑熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー LED照明による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 内装仕上材がないため、分別が不要で設備との錯綜がない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物に対して66%とし、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される